資料　６

特別展「仏画の力―東北 珠玉の仏教絵画―」
開催要項

１　**名称**：特別展「仏画の力―東北 珠玉の仏教絵画―」

２　**趣旨**：

仏の姿やその教えなどを描いた仏教絵画（仏画）は、平和な世の中になることや災いを除くこと、極楽への往生など、さまざまな“力”を期待されて作られました。また、描かれた仏の尊さや芸術的な美しさ、分かりやすさなど、人々を魅了する“力”も仏画は備えています。さらに、仏画が生み出され、伝来し、今日まで守り伝えられるには、そこに関わり、支えた多くの人々の“力”も不可欠です。

そうした仏画の“力”を感じられる作品は、東北でも制作され、あるいは伝来しました。その端緒といえるのが、平安時代後期、平泉藤原氏のもとで作られた中尊寺経見返し絵です。平和な世の実現が期待され、貴重な金銀を惜しげもなく多用して作られました。相当な時間や資金がかかり、多くの人々の尽力により成り立ったことは想像に難くありません。そのほか、極楽往生を願い作られた浄土図や来迎図は、金箔などで表された極めて細密で華麗な文様の表現が人々の目をひきつけますし、中世～近世にかけて登場した参詣曼荼羅や熊野観心十界曼荼羅のように、庶民への参詣誘致のため、芸術性よりも直接的な分かりやすさを重視した活力あふれる画風の作例も伝来しています。

本展では、国宝「中尊寺経」見返し絵をはじめとした仏画の優品や、近年新たに見出された作品、東北地方に独特な作例など、東北ゆかりの仏画を、他地域に所在する関連作品とともに紹介します。国宝・重要文化財を含む約 90 件の東北の仏画が一堂に会する、過去例を見ない貴重な機会となります。この展示により、東北地方における仏画の多彩さとその魅力を知っていただき、仏画の力の一端を感じていただければ幸いです。

３　**主催**：仙台市博物館

４　**共催**：NHK 仙台放送局

５　**後援（予定）**：在仙マスコミ各社

６　**会期**：令和８年９月 18 日（金）～11 月８日（日）　開館日数 45 日

※休館日　毎週月曜日（９/21・10/12 を除く）、９/24、11/４

※会期中、展示替えがあります。

７　**会場**：テーマ展示室Ⅰ、テーマ展示室Ⅱ、企画展示室、コレクション展示室Ⅱ

８　**観覧料**：一般 1,300 円、高校・大学生 1,000 円、小・中学生 600 円

※10 名以上の団体各 100 円引。

９　**展示構成（予定）**：

第１章　経絵の世界

第２章　釈迦と涅槃図

第３章　阿弥陀と浄土の風景

第４章　さまざまな尊像

第５章　神仏習合と庶民信仰

１０　主な出品資料（予定）：

国宝　紺紙金銀字一切経　　平安時代　金剛峯寺（和歌山県）
国宝　紺紙金字一切経　　平安時代　中尊寺（岩手県平泉町）
紺紙金字妙法蓮華経　平安時代　金剛峯寺（和歌山県）
宮城県指定　釈迦十六善神像　室町時代　峰仙寺（宮城県気仙沼市）
重要文化財　釈迦八相図　鎌倉時代　大福田寺（三重県）
宮城県指定　釈迦説法図　室町時代　瑞巌寺（宮城県松島町）
重要文化財　当麻曼荼羅　鎌倉時代　浄蓮寺（秋田県大仙市）
青森県重宝　当麻曼荼羅　鎌倉時代　貞昌寺（青森県弘前市）
重要文化財　當麻曼荼羅縁起　南北朝時代　當麻寺（奈良県）
重要文化財　阿弥陀二十五菩薩来迎図　鎌倉時代　福島県立博物館（福島県会津若松市）
宮城県指定　両界曼荼羅　南北朝時代　大光院（宮城県柴田町）
岩手県指定　刀八毘沙門天像　室町時代　毛越寺（岩手県平泉町）
重要美術品　三十番神像　南北朝時代　本間美術館（山形県酒田市）
重要文化財　熊野権現影向図　至徳元年(1329)　檀王法林寺（京都府）
村山市指定　熊野観心十界曼荼羅　江戸時代　長学院（山形県村山市）
那智参詣曼荼羅　　桃山～江戸時代　個人蔵（山形県）
善光寺参詣曼荼羅　桃山時代　小山善光寺（大阪府）
平泉諸寺参詣曼荼羅　桃山時代　中尊寺（岩手県平泉町）
中尊寺参詣曼荼羅屏風　桃山～江戸時代　静岡市立芹沢銈介美術館（静岡県）
岩手県指定　鍛冶神図　室町時代　岩手県立博物館（岩手県盛岡市）

１１　関連イベント等（予定）：

（１）しろ・まち講座　※事前申込制・聴講無料。申込者多数の場合は抽選。
演題：「庶民信仰のかたち―参詣曼荼羅の魅力に迫る―（仮）」
日時：９月１９日（土）13：30～15：00（13：00 開場）
講師：寺澤慎吾（当館学芸員）
会場：博物館ホール（定員 200 名）
（２）記念講演会　※事前申込制・聴講無料。申込者多数の場合は抽選。
演題：「未定」
日時：１０月２５日（日）13：30～15：00（13：00 開場）　（予定）
講師：谷口耕生氏（奈良国立博物館）
会場：博物館ホール（定員 200 名）
（３）学芸員による見どころ解説（全５回）　※申込不要・聴講無料・先着順。
日時：１０月３日（土）・１０日（土）・１７日（土）・３１日（土）、１１月７日（土）
各日 13:30～14:00　※各日で解説内容は異なります。
会場：博物館ホール（定員 200 名）
そのほか、まちなか博物館講座、ミュージアムセミナー、友の会広報セミナー、プレイミュージアムイベントなどを予定。

１２　予算：　19,592 千円